

競技注意事項

- 1 この大会に適用する規則は、2019年度日本陸上競技連盟競技規則及び大会規定である。
- 2 本大会は県ユース大会の予選会である。下記の手順で代表選考する。
 - (1) 各種目上位男子7名、女子6名、競歩競技2名が県大会出場資格を得る。ただし本年度全国高校総体出場者（リレー種目を除く）には県大会の出場資格を特別枠で与えるが、本大会に正式出場した場合はその資格を放棄したものとする。参加申込は、規定に従い各校でおこなう。
 - (2) トラック競技は1次予選をタイムレースで実施し下記の方法で選考する。
 - ☆ 800m以下の競技は参加者が25名以上の場合、2次予選（2組12名）をおこなう。
今年度は1年男子100m・800m、2年男子100m・200m、1年女子100mについて2次予選を行い、県大会出場者を選考する。予選のシードは各組平均化する。
 - ア 第2次予選は、男子2組3着＋1、女子2組2着＋2で行う。但し男子4着、女子3着以下で同成績（1/1000秒未満の着差）が生じた場合代表決定レースを行う。
 - イ 2次予選進出者は規定の12名とするが、12番目の選手が同記録（1/100秒）で複数ある場合と出場資格行使者が第2次予選に出場する場合は、その人数を加えて番組を編成する。ただし、空きレーンに余裕がない場合は1/1000秒の着差を考慮して2次レース進出者を決定する。それでもなお、優劣が決められない場合は本人または代理人による抽選で決定する。
 - (3) フィールド競技は次の選考方法とする。
 - ア 跳躍（走高跳・棒高跳を除く）、投てき競技は3回の試技後、県大会出場資格行使者を除いた上位8名を選び、残り3回の試技を行い選考する。男子7位、女子6位が同成績の場合、さらに追加試技を実施し県大会出場資格者を決定する。なお、追加試技の記録は公認記録として認めない。
 - イ 走高跳・棒高跳において男子7位、女子6位が同成績の場合、出場資格決定試技を実施する。なお、追加試技の記録は公認記録として認めない。
 - (4) リレー種目は1、2年生合同で編成することができる。県大会への出場は自由参加とする。
 - (5) 三段跳は標準記録を設ける。男子は1年生・2年生ともに、出場枠に入った選手のうち11m50以上の者とする。女子は1年生・2年生ともに、出場枠に入った選手のうち9m50以上の者とする。
 - (6) ハンマー投は標準記録を設ける。男子は1年生23m00、2年生30m00とする。女子は1年生20m00、2年生23m00とする。
- 3 招集について
 - (1) 選手招集所は、第一ゲートに設け、下記の開始および完了時刻で実施する。

	トラック競技	フィールド競技
開始時刻	25分前	35分前
完了時刻	15分前	25分前

- (2) 招集完了時刻10分前に競技者係が点呼する。
- (3) 代理人による招集は認められない。但し多種目を同時に兼ねて出場する者は、あらかじめ競技者係に多種目同時出場届を提出し事前の点検をうけておくこと。
- 4 スタートに関するルールは、イエローカード2枚で当該種目のみ失格とする。
- 5 男子5000mで先頭に一周抜かれた場合はレースを中止させることがある。また、5000mWは男子35'00"、女子40'00"を目途にレースを打ち切ることがある。
- 6 リレーのオーダー用紙は、招集完了時刻の1時間前までに本部記録へ提出すること。オーダー用紙は学校受付時に配付する。
- 7 ナンバーカードは、規定のものを確実に付けること。
- 8 1500m 5000m 3000mSC 5000mW 女子1500m 3000m 5000mWの腰ナンバーは大会本部で準備する。
- 9 やりは、検査をうけて自己のものを使用することができる。
- 検査場所 玄関ロビー
- 検査時間 男子 第一日目 11時00分 女子 第一日目 9時00分
- 10 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は次の通りとする。
- 男子 走高跳 1m40(練習) 45-50-55-60-65-70-75-78-81.....以後3cmきざみ
- 棒高跳 3m50(練習) 3m60-70-80-90-4m00-10-20.....以後10cmきざみ
- 女子 走高跳 1m25(練習) 30-35-40-45-48-51-54-57-60.....以後3cmきざみ
- 棒高跳 1m60(練習) 60-80-2m00-10-20-30-40-50-60-70-80-90-3m00.....以後10cmきざみ
- 代表決定の為のバーの上げ下げは、走高跳では2cm、棒高跳では5cmとする。
- 走高跳・棒高跳でバーを破損した場合は、弁償すること。
- 11 練習はサブトラックで行うこと。ウレタン走路の逆走と周回走、ウレタン走路でのハードル・ミニハードル・ゴムチューブ等の利用、公園内での投てき練習は危険防止のため禁止する。
- 12 スターティングブロックは、競技場設置のものを使用すること。
- 13 競技場が全天候舗装のため9mm以下の全天候型のピンを使用すること。但しやり投と走高跳は12mm以下とする。
- 14 高体連の申し合せにより、原則2名の役員の協力のない学校の選手は出場出来ない。
- 15 競技場内でのウォーミングアップは競技開始の15分前まで認める。